



えんどう たかし
遠藤隆志

皆様には、日頃よりご支援賜りまして誠に有難うございます。

この度、8月末日をもって大阪維新の会を離党いたしました。維新の遠藤隆志として、これまでお支えをいただいた皆様には本当にお世話になり感謝申し上げます。

今後は無所属の一議員として、気力と体力が続く限り、皆様のご意見ご要望をしっかりと和泉市政に反映させ、和泉市の発展また地域の発展、全ての世代が住んでよかったと思える街づくりに取り組んでいく所存です。

皆様には引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

今号では、令和7年第3回定例会の審議事項等について掲載させていただきます。

市政に対するご意見、ご要望等がございましたらお申し付け下さい。

【黒鳥山公園整備事業】

今年4月に民間事業者を公募し、現在、協定書終結に向けて協議を行っています。

事業者の計画では、令和8年7月頃のオープンに向けて計画を進めています。

現在、既存施設の撤去や造成を施工中で、今後は、道路拡幅や駐車場、トイレの整備などを予定しており、民間施設のオープン時には暫定で新しい駐車場を共用開始しますが、その後も駐車場やエントランスの整備工事などを計画しており、完全に山荘側の整備が完了するのは令和9年度末を予定しています。



【議案（抜粋）】

◇財産取得について（自動ラップ式トイレ）

〈災害時、避難所での生活環境改善のための自動ラップ式トイレ〉

水を使わず、排泄物を熱圧着によってフィルムで1回ごとに密封し、においや菌を漏らさない仕組みで、紙おむつと同様の処理が可能となった災害用トイレの購入。

◇財産取得について（高規格救急自動車）

疾病者に対し、救急現場や搬送途上において救命救急士が実施する高度な救命処置が可能な高規格救急自動車の購入。

令和7年第3回定例会・一般質問

【登下校時の熱中症対策について】

今年の夏は、8月に入ってから全国各地で気温が40度を超え、8月5日には群馬県伊勢崎市で国内観測史上1位となる41.8度を観測し、9月以降も猛暑が続いており、日常的な暑さ対策が重要になります。

【質問】 和泉市では8月25日が始業式となっているが、朝から30度を超えるようなこの時期から2学期を始める必要があるのか疑問に感じる。大阪の他自治体はどのような状況なのか伺う。

【答弁】 8月25日を2学期始業式としている自治体が本市を含めて23、その他、8月24日の自治体が1、8月26日～29日の自治体が16、9月1日の自治体が3となっている。

【質問】 2学期開始の8月25日から29日の登下校時の暑さ指数について調べたところ、非常に過酷な状況であることがわかった。登校時間の暑さ指数は「警戒」または「嚴重警戒」の範囲にあり、下校時間の暑さ指数は「嚴重警戒」または「危険」の範囲にあった。環境省の熱中症予防サイトによると「警戒」では運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる、「嚴重警戒」では外出時は炎天下を避け室内では室温の上昇に注意する、「危険」では外出はなるべく避け涼しい室内に移動することが日常生活に関する指針における注意すべき生活活動の目安とされている。教育委員会としては学校に対し、熱中症事故を防止するための環境整備についてどのような指導をされているのか。

【答弁】 活動中やその前後に適切な水分・塩分補給や休憩ができる環境を整えること、熱中症の疑いのある症状が見られた場合には速やかに体を冷却できるよう備えるとともに、ためらうことなくAEDの使用を含む一次救命処置や救急要請を行う等の体制を整備すること、学校施設の空調設備を適切に使用すること、活動する場所の空調設備の有無に合わせて活動内容を設定すること等を指導している。

【意見】 来年の夏季シーズンに向け、柔軟性のある教室のエアコン、ウォータークーラーの適正使用、冷却グッズや日傘等の有効活用など、あらゆる手段で事故が起きないように努めていただきたい。また、始業式の日程は市独自に決定できるので、この機会に8月25日にこだわらず柔軟な対応を願う。

暑さ指数 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安 ^(注1)	日常生活における注意事項 ^(注1)	熱中症予防運動指針 ^(注2)
31℃以上	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。	運動は原則中止 特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
28～31℃ ^(注3)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。	嚴重警戒(激しい運動は中止) 熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人 ^(注4) は運動を軽減または中止。
25～28℃ ^(注3)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。	警戒(積極的に休憩) 熱中症の危険性が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
21～25℃	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。	注意(積極的に水分補給) 熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。

(注1) 日本気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver.3」(2013)より



本会議・一般質問

【プロフィール】

- ・1958年6月、和泉市黒鳥町に生まれる
- ・伯太小学校入学/黒鳥小学校/和泉中学校/府立登美丘高校/大阪商業大学卒業
- ・元黒鳥小学校PTA会長/元和泉中学校PTA本部役員
- ・元府議会議員秘書/元衆議院議員公設第一秘書
- ・2016年9月、和泉市議会議員初当選/2020年9月、2期目当選/2024年9月、3期目当選
- ・総務企画委員会委員/和泉市財産評価審査委員会委員
- ・大阪拉致議連幹事/和泉市防犯協議会黒鳥支部相談役/黒鳥町第三町会顧問

